

2013年6月14日

会員各位

SAM東京支部事務局

2013年7月度例会のご案内

拝啓 皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、東京支部2013年7月度例会のご案内を申し上げます。今回は、岩坂泰信先生にご登壇いただき、「東アジアに吹く風 -大気中を流れ来るものを考える-」をテーマにお話しいただきます。

岩坂先生は、「エアロゾル」と呼ばれる大気中に浮遊するさまざまな物質研究の第一人者です。今回の例会では、①人間生活と風は深く関係しあっている（当たり前のことの再発見）、②黄砂を見る目の変化（大気観の深化）、③空気は誰のものか（人間社会は多くのものについて所有権、占有権などを設けてきた。地球環境の時代それらはどう考えたらよいのだろうか？）などについてお話しいただく予定です。

つきましては、ぜひ多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

敬具

記

■日時：2013年7月18日（木） 12:00～13:40

■会場：（社）日本外国特派員協会（プレスクラブ）会議室

〒100-0006 千代田有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館20階 TEL:03-3211-3161

※今回の会場は、プレスクラブでございます。お間違いの無いようお願いいたします。

■講師：名古屋大学名誉教授、滋賀県立大学理事 岩坂泰信先生

【略歴等】1941年富山県生まれ。東京大学大学院博士課程修了（地球物理学専攻）。名古屋大学水圏科学研究所助教授などを経て同大学大学院環境学研究科教授。2004年に金沢大学自然計測応用研究センター教授に転出。同大学フロンティアサイエンス機構特任教授をへて、2012年より滋賀県立大学理事。名古屋大学名誉教授。日本エアロゾル学会会長（2000-2004年）、アジアエアロゾル研究評議会会長（2003-2005年）、2010年日本気象学会藤原賞受賞。文部科学省南極地域観測統合推進本部委員、環境省黄砂問題検討会座長等を務める。南極での極成層圏雲の観測はオゾンホール機構の機構解明に貢献。黄砂表面に着目した先駆的成果と、黄砂バイオエアロゾルの独自性ある野外観測は世界で高い評価を得ている。著書に『オゾンホール：南極から眺めた地球の大気環境』（裳華房）『環境学入門2 大気環境学』（岩波書店）『黄砂』（古今書院）『黄砂 その謎を追う』（紀伊國屋書店）など多数。

■テーマ：東アジアに吹く風 -大気中を流れ来るものを考える-

■会費：3,000円

■ご出欠：2013年7月10日（水）までに同封ハガキでお知らせください。

※お申込後にキャンセルされる場合は、前々日（土日を除く）までにご一報ください。

■次回：8月はお休みになります。9月度例会は9月9日（月）を予定しております。

以上